

むかわ町地域主体の一体的な森林づくり

～間伐コスト縮減に向けた取り組み～

胆振東部森林管理署

協定の概要

- **目的** むかわ町における国有林、道有林、町有林や私有林が所管を超えて、流域が一体となった森林の整備・管理、森林資源の循環利用及び木育を推進し、地域の振興・再生に貢献する。
- **協定者** むかわ町・北海道（胆振総合振興局）・胆振東部森林管理署
- **内容** ①森林の一体的な整備・管理 ②森林資源の循環利用 ③木育の推進



むかわ町における地域主体の一体的な森林づくり協定書

むかわ町は道内で木育の推進を推進する一環として「協定」の締結にあり、この協定は道内初の協定書である。「協定」は道内初となるものである。

【目的】流域が一体となった森林の整備・管理、森林資源の循環利用及び木育を推進し、地域の振興・再生に貢献する。

【内容】国有林、道有林、町有林、私有林が所管を超えて、流域が一体となった森林の整備・管理、森林資源の循環利用及び木育を推進し、地域の振興・再生に貢献する。

【協定者】むかわ町、北海道（胆振総合振興局）、胆振東部森林管理署

【内容】①森林の一体的な整備・管理 ②森林資源の循環利用 ③木育の推進

【協定の目的】国有林、道有林、町有林、私有林が所管を超えて、流域が一体となった森林の整備・管理、森林資源の循環利用及び木育を推進し、地域の振興・再生に貢献する。

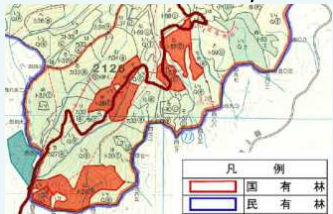
【協定の効果】国有林、道有林、町有林、私有林が所管を超えて、流域が一体となった森林の整備・管理、森林資源の循環利用及び木育を推進し、地域の振興・再生に貢献する。

平成28年度の取組内容

○ 民国連携システム販売

国有林と民有林が連携して林産物の販売をすることを目的に、道内で初めて共同施業団地内において、「民国連携システム販売（国有林、むかわ町、苫小牧広域森林組合）」を実施。

生産量（国有林：1,096m³、民有林：648m³）



○ 専用HPの開設

胆振総合振興局森林室HPの中に、「むかわ町における地域主体の一体的な森林づくり」サイトを開設。

○ 各種行事の実施

植樹行事、木工体験等の木育活動や山火事消火訓練、林業事業体に対する安全パトロールなどを実施。



成果

○ 現地検討会（1/20）で民国連携システム販売のメリットを共有

- 国有林：間伐未実施箇所が販売可能となり、好条件地でなくとも高く売ることができた。
 - むかわ町：従来、補助金を使って実施していた間伐が、ロットを確保することによって立木販売でも実施可能となり、補助金の削減につながった。
 - 森林組合：土場を共有することにより、土場作設経費を縮減することができた。同時に施業ができるため、大型機械の運搬コストについても削減につながった。
- そのほか道内の共同施業団地の活動状況やシステム販売の現況等についても関係者間で共有することができた。

○ ホームページによる取組状況の情報発信

狩猟者向けにエゾシカ対策等の項目を設けて、捕獲頭数情報・林道除雪情報を発信しエゾシカ対策へ寄与。今後、様々な取組状況を順次情報発信していく。

○ 普及活動など安全意識に対する職員の技術向上

3者の持っている知識を出し合うことにより、普及活動や安全指導の技術の向上につながった。また、林業事業体においても角度の違うチェックにより安全意識の向上につながった。

今後に向けて

3者の連携を強化し、間伐コストの縮減に向けて、民国連携システム販売等の実現に向けて取り組んでいく。そのために、各機関にとってメリットがある間伐箇所を選定し、ストックヤードなどについても検討しながら事業の効率化や低コスト化を図っていくことが重要。こうした取り組みにより雇用の拡大など地域の振興・再生に貢献していく。